

であい  
ふれあい  
まなびあい

# 水谷公民館からのお知らせ

TEL049-251-1129



## はじめてのスマホ教室 (定員10名/申込順) 参加費無料

とき/1月14日(水)午後1時30分~3時30分  
講師/スマホアドバイザー(SoftBankより派遣)  
内容/スマホの基本と防災の備え  
申込/1月7日(水)午後5時までに窓口または電話にて受付。



## おはなし会 0歳から参加できます! 絵本や手遊びを楽しもう! 参加費無料

協力/Enne絵本・おはなしグループ  
とき/2月4日(水)午前10時30分~11時  
申込期限/開催日の前日まで  
※お申込みを忘れても当日参加可能です!



## 水谷学級全体会「落語鑑賞会」 公開講座 参加費無料

毎年大好評の落語鑑賞会です!誰でもご参加できます。  
とき/1月15日(木)午前10時30分~正午  
演者/三遊亭金朝師匠(一般社団法人落語協会所属)  
申込/窓口または電話にてお申し込みください。(定員50名/申込順)

## 第39回富士見市地域・自治シンポジウム 参加費無料

テーマ/オススメしたくなる公民館になろう!  
とき/2月1日(日)午後1時30分~4時  
会場/水谷公民館 多目的ホール  
講師/中本 正樹氏(Nakamasagas代表/元小美玉市職員)



## 百(もも)の会

おひとりさまサロン(ひとり暮らしの高齢者対象)  
とき/2月9日(月)午後1時30分~3時30分  
内容/ニュースについて話そう ※1月はお休みです。  
※初めて参加される方は、事前に水谷公民館にお問い合わせください。

## うたごえ喫茶inみずたに アコーディオンの演奏で楽しく歌いましょう!

とき/3月1日(日)午後2時~4時 参加費/500円  
申込/2月5日(木)から公民館窓口にて受付。(定員50名/申込順)

## まち協 Spring コンサート 入場料無料

演歌からクラシックまで皆さんに親しみのある楽曲を演奏します!  
とき/3月8日(日)午後2時~4時 会場/水谷公民館  
出演/アレグロカルテット 主催/水谷小学校区まちづくり協議会

## 教育講演会 子どもの「心」に寄り添う対話の技術

とき/3月14日(土)午後2時~4時  
講師/山下 真実氏(対話カフェつむぎ共同代表)  
会場/水谷公民館 多目的ホール  
主催/不登校・引きこもりを考える親の会「まわりみち」・水谷公民館  
申込みや詳細は、右のコードからご覧ください。



水谷地区の人口 令和7年10月31日現在 ( )内の数字は前月比  
水谷地域の人口 34,909人(+159人) 世帯数 17,977(+125)

### 公民館の利用について

#### 【令和8年4・5月の予約の流れ】

内容	4月分	5月分
抽選申込期間	1月15日(木)~31日(土)	2月15日(日)~28日(土)
コンピューターによる自動抽選	2月1日(日)	3月1日(日)
抽選結果の確認	2月1日(日)~4日(水)	3月1日(日)~4日(水)
窓口受付開始	2月5日(木)	3月5日(木)
インターネット仮予約受付	2月6日(金)	3月6日(金)

※休館日 1月 1日(木)~1月 3日(土) 年始休館  
1月19日(月)、2月16日(月) 第3月曜日

## 水谷子ども広場 参加費無料・申込不要

とき/1月24日(土)、2月28日(土) 午前9時30分~11時30分  
場所/水谷公民館 主催/水谷子ども広場  
内容/絵てがみ・茶道・ベーゴマ・工作など  
※小学1・2年生は、保護者同伴でお願いいたします。

私と弓道の出会いは昭和46年川越農業高校(川越総合)に入学したときでした。先輩たちの弓を引く姿がとても美しく、そして引き絞られた弓から離れた矢の的中音に感動し、迷わず弓道部に入部しました。部活では毎日、的中率を上げる練習があり、下がると選手に選ばれないというプレッシャーに押しつぶされそうな毎日を過ごしていました。卒業後は、しばらく休んでいたのですが、平成2年に市民総合体育館3階に弓道場が完成し、それを機会に再開して今は35年目になります。弓道の教えには、的中ばかり追い

### 弓道で健康維持

水谷2丁目在住 平塚 雄一



求めず入場から退場までの立ち振る舞いに誠を尽くし、見ている人に感動を与える弓を引きなさいとあります。そんな弓道の姿勢は背筋を伸ばし、腹式呼吸を使うため、健康維持には素晴らしい武道です。週に数回の稽古では会員の指導が中心となりますが、会員たちが試合で良い成績を納めたり、昇段試験に合格すると自分のことのように嬉しく思います。私も70歳になりましたが次の昇段を目指し、無心になれる会心の一矢を求めて会員達と稽古に励みます。

### 編集委員のつぶやき

ここ数年、年の瀬に姪っ子から啓翁桜の枝が届きます。小さくまとめられ車に揺られて届いた箱を開けて紐をほどいてやると、背伸びするかのごとく小枝を広げていきます。新しい年の音が聞こえる頃には堅い蕾が日に日に柔らかくなり、一輪二輪と花びらを開いていきます。何とも言えないとても贅沢なお正月気分にしてくれます。さすが日本人に最も愛される花なのだ納得。七草粥の頃にはまだまだ蕾もあり成人の日の頃には小さな葉っぱも出始めます。挿し木に挑戦してみたくありません。

編集委員 大槻 節子

